

令和2年度 地元報告会開催結果について【要旨】

日 時：令和3年3月27日（土） 10：00～10：47

場 所：多摩ニュータウン環境組合 管理棟 見学者説明室

参加者：多摩市民10名

町田市民 1名 計11名

出席者：阿部管理者、富澤事務局長、中村施設課長、柚木総務課長（兼）出納課長、江尻リサイクルセンター長、事務局3名

地元報告会の開催結果

次第1 阿部管理者あいさつ

次第2 報告

1 令和2年度多摩清掃工場の運営について

(1) 主な事業の取り組みについて報告

ア 環境について

環境測定とISO14001の適切な運用を実施

イ 省エネ化について

照明のLED化を推進、省エネ型コンプレッサーへの更新を実施

ウ 電力需要ひっ迫時の対応

今冬発生した電力需要のひっ迫時に発電出力を増電して対応

エ たまかんニュース

年2回各86,000部を新聞折込にて発行、地域版は年1回 各回約3,400世帯へ職員によるポスティングを実施

オ 多摩清掃工場の施設見学の実施

29団体300人

カ 地元自治会等との情報交換会を実施

令和2年6月20日（土）、令和2年11月14日（土）、令和3年1月31日（日）に地元協議会の設立について協議

キ こども清掃工場見学会及び煙突登りにチャレンジ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ク 地域交流ふれあい事業の実施

令和2年10月18日に『秋のたまかん特別見学会』を開催。来場者はのべ約95人

ケ クリーンアップ作戦

清掃工場職員による工場周辺美化活動を毎月実施した。

コ 唐木田清掃活動応援キャンペーン2020

令和2年12月15日～24日に『唐木田清掃活動応援キャンペーン2020』と銘打ち個別に清掃活動を行う団体に対し『道具の貸し出し』『集めたごみの受入』『活動状況の広報』を行った。8団体37名が参加

(2) ごみ搬入量の推移について報告

構成市の人口は増加しているが、ごみの搬入量については構成市による取組みにより減少傾向の中、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、微増見込み。

(3) 令和2年度 多摩清掃工場へのごみ搬入量について報告

八王子市拡大区域、構成市応援処理分を含め可燃ごみ 51,748 トン、
不燃ごみ 2,017 トン、粗大ごみ 2,251 トン、合計 56,015 トン

(4) 令和2年度 構成市間応援協定に基づく処理支援の状況について報告

・八王子市より令和2年6月8日から令和2年6月19日まで戸吹清掃工場の定期点検による休炉のため 274.65 トン (117 台) の応援ごみを受け入れ

・八王子市より令和2年9月8日から令和2年10月9日まで北野清掃工場の定期点検による休炉のため 301.58 トン (119 台) の応援ごみを受け入れ

・八王子市へ令和2年6月3日から令和2年6月5日まで多摩清掃工場の粗大ピット火災のため粗大ごみ 7.65 トン (4 台)、粗大ごみ 0.04 トン (1 台) の応援ごみを依頼

・町田市へ令和2年6月3日に多摩清掃工場の粗大ピット火災のため燃やせないごみ 29.75 トン (34 台)、燃やせるごみ 1.68 トン (1 台) の応援ごみを依頼

(5) 焼却炉運転日数について報告

1 炉運転 令和元年度 314 日、令和2年度 320 日(予定)、令和3年度 305 日(計画値)

2 炉運転 令和元年度 11 日、令和2年度 0 日(予定)、令和3年度 6 日(計画値)

全炉停止 令和元年度 41 日、令和2年度 45 日(予定)、令和3年度 54 日(計画値)

(6) 環境測定結果について報告

法令による規制基準値より厳しい自主規制値を定め、令和2年度の測定結果はすべて自主規制値以下であり安定的運転であった。

2 令和2年度リサイクルセンター運営状況について

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年2月29日から6月1日まで臨時休館
6月以降一部開館時期を経て、9月に事業全体を再開。講座回数等、現在も事業の制限あり。

開館日数・来館者数 227 日 12,605 人

主催講座 68 回

リサイクル品販売実績 家具・木材等 5,363 個 自転車用部品 69 点

不用食器のリサイクル 持込者 249 人

3 令和3年度予算概要について

予算規模、歳入・歳出それぞれ 15 億 1,405 万 8 千円。

歳入のうち、負担金が 69.3%、諸収入が 21.5%。

歳出予算としては、処理場費が 94.8%を占めている。

4 令和3年度の事業予定について

(1) 構成市間のごみ応援受け入れの実績と予定

八王子市から6月と9月に約 1,022 トンの可燃ごみを受入予定

(2) 主な新規事業の予定

最終処分場への灰の搬出重量を削減するための飛灰搬出改造工事、工場の施設老朽化への対応の検討を始めるにあたり、最も効率的な建て替え時期を調査するための技術支援業務委託を実施予定

(3) 主なイベントについて

地域交流事業を10月17日(日)に実施予定

唐木田クリーンアップ作戦の具体的な内容や日程は、実行委員会で決定

5 その他

(1) 宮城県大崎市の災害廃棄物広域応援処理について

令和元年台風19号により発生した宮城県大崎市の稲わら等の災害廃棄物について令和2年4月2日から10月21日まで479.51トンの応援処理を行った。

(2) 多摩地域における宿泊療養施設のごみ処理広域支援について

東京都が運営する新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養施設から排出されるごみの処理を行っている多摩川衛生組合が定期修繕の間、処理を行った。受入れ期間は令和3年2月8日(月)から2月26日(金)まで。搬入量は事業系一般廃棄物を3,060kg

(3) 処理区域の変更について

処理区域の変更について規約改正の手続きが完了。施行は令和4年4月1日

(八王子市の拡大区域分は新館清掃工場稼働までの間、移行期間として9月30日まで受け入れ)

(4) 町田市のごみ処理支援要請について

令和4年に稼働する町田市の次期清掃工場で町田市内の可燃ごみを処理しきれない見込みとなったため、町田市から可燃ごみ処理支援要請があった。

▶町田市からの要請内容

期間：令和4年4月～令和8年3月(4年間)

ごみ種・搬入量：家庭系可燃ごみ 最大10,000t/年

※搬入量については毎年度見直し、年間10,000tを上限に可能な限り抑制した量

▶環境組合の対応

清掃工場周辺にお住いの皆様との意見交換や施設の設置市である多摩市のご理解をいただきながら、今後、町田市のごみ処理支援についての検討を開始する。

6 質疑応答

質問①「町田市からのごみ処理支援要請について、期間が4年間となっているのは長いと思いますが、今回の応援対応というのは、構成市の中で了解事項となっているのですか。それとも、事前に地元の説明をしてから、こういう形に移行していくのでしょうか。」

回答①「町田市のごみ処理支援要請の対応については、町田市から要請があったので、この後、地域の皆様はどうしてこういう事態に至ったのか町田市から説明をさせていただき、意見交換をした後、皆様の意見を踏まえた上で、最終的に組合としての対応を決定していく流れで進めていこうと考えています。」

質問②「町田市からの支援要請について、端的に言えば工場を作るにあたり見通しが甘かった、それで、ごみ処理ができなくなって、応援を頼んだという理解をしているのですが、受け入れに際して、4年間でどういう対策をしていくのか、その辺をはっきりさせていただいてから、考えたいと思います。

あと、予算について、財政調整基金は工場の建替え等のために、積み立てていくものと思っているのですが、この基金からの繰り入れが今回多くなった理由はこういったものがあるのでしょうか。」

回答②「町田市の4年間の対策の件については、ご意見を賜りましたので、町田市にお伝えしたいと思います。

予算に関する質問で、ご指摘の通り、令和3年度予算においては財政調整基金からの繰り入れが多くなっています。理由としては、八王子市、町田市、多摩市の3市が支出する構成市負担金を前年度並みに抑制するため財政調整基金からの繰り入れをさせていただきました。

ご意見のあった建替えに必要な積立の件については、令和3年度に技術支援業務委託を活用して動き出す、建て替えも見据えた老朽化対応の検討を進める中で、今後、検討を行ってまいります。」

質問③「毎年八王子市も焼却炉の改修工事でこちらに受け入れを行っていますが、受入れ時に地元自治会に環境組合の方から説明をする場を設けて行った経緯がありますが、今回の町田市の場合にも同じようなパターンで、お願いをすればやっていたらいいのでしょうか。」

回答③「町田市の支援要請の件は、ご要望があれば、出前説明会みたいなことを要望に沿った形でさせていただき、説明や意見交換を出来ればと考えています。」

質問④「将来的に、建て替えになるかと思うのですが、書いてあるようにコンサルタントの意見を聞いていくことになるのでしょうか、組合としては将来だいたい何年後ぐらいを想定されていますか。」

回答④「平成26年度から28年度にかけて長寿命化、延命化の工事をしております。そのときの計画年度としては、令和14年度まで工場を稼働させる計画となっています。ただ、全国的な傾向として清掃工場のように規模の大きな施設で、多額の資金を投入した施設については、使えるものであれば少しでも長く使っていく必要があるということで、令和14年度を一つの基準にして、それよりさらに使っていく場合に、維持費にどれぐらいかかり、加えて新しい施設を建てるのにいくらかかるのか。ある程度長期的なコストをコンサルタントにお願いをして、試算をしてもらってイメージで令和3年度の取り組みを進めていこうかと思っています。

基準としては令和14年度から始めて、どの程度持たせられるのか。あるいは持たせるとしたら、どれぐらい経費がかかるのかといったようなところをイメージしています。」